

センターだより

平成28年11月15日 No.57
東濃西部少年センター TEL23-3455 FAX26-8813

所 長 加 納 昭 仁
指導主任 坂 井 正 昭
事 務 柴 田 弥 生

11月は、「子ども・若者育成支援強調月間」



今年は、「青少年育成支援国民運動50周年」という節目の年となっています。この節目の年に、内閣府において新たな標語募集が行われました。決定した標語が上記「支えよう 輝く人の 夢みらい」です。

子ども・若者は、家族にとっても、社会にとっても、大きな可能性を秘めたかけがえのない存在であり、全ての子ども・若者が、自尊感情や自己肯定感を育み、自己を確立し、社会との関わりを自覚し、自立した個人として健やかに成長するとともに、明るい未来を切り拓いていくことが期待されています。子ども・若者の育成支援を、家庭を中心としながらも、社会全体で取り組むべき課題として位置付け、全ての若者が自立・活躍できる社会の実現を目指すものです。

岐阜県においても、岐阜県・岐阜県教育委員会・岐阜県警察が実施主体として、11月1日～30日に県内各地でさまざまな取り組みが展開されます。重点的な取り組みとして次の五つが示されています。

- 1 青少年の自覚と行動を促す取り組み（**高校生のびのびプロジェクト**）
街頭啓発活動 地域や学校での清掃活動・挨拶活動 SNSに関する研修など
- 2 困難を有する子ども・若者への支援
相談窓口担当者研修会・情報交流会の開催 児童虐待防止「ぎふおっパ♪運動」など
- 3 インターネット利用に関する調査・啓発活動
「岐阜県青少年健全育成条例」の周知＝フィルタリングの利用の徹底
「ネット安全・安心ぎふフォーラム」の開催など
- 4 青少年を健全に育む環境の整備
立入調査活動の強化 声かけ・相談活動の推進 麻薬乱用対策等の推進など
- 5 青少年の健全育成に向けたイベント等、広報活動
「岐阜県青少年健全育成県民大会」の開催 子ども・若者の食育の推進など

11月5日(土) 多治見駅での「子ども・若者育成支援強調月間」啓発活動

早朝、9時30分のオープニングセレモニーから活動がスタートしました。多治見北高等学校吹奏楽部の演奏、同校放送部の司会進行と若者の力で会の運営に携わってもらいました。また、同校生徒会が県の取り組みである「**高校生のびのびプロジェクト**」を兼ねて参加してくれました。古川雅典 多治見市長(他の公務が入られ、メッセージをいただきました)、高津充寿 多治見警察署生活安全課長、熊崎喜代治 多治見駅助役、小倉達也 東濃子ども相談センター所長、原 恵市 東濃教育事務所教育支援課学校地域連携担当指導主事、鈴木富重 東濃県事務所振興防災課青少年育成専門職を来賓としてご出席いただきました。



古川雅典市長からのメッセージ

本日は、全国「子ども・若者育成支援強調月間」にともな、多治見駅前啓発活動が開催されますことを心よ、お慶び申し上げます。

また、日頃は、青少年の健全育成にご尽力を賜り、誠にありがとうございます。

多治見市では、「人財育成」に力を入れています。皆さんの地道な活動は子どもや若者の育成につながると共に、安心して安全な多治見市を創る第一歩になると確信しています。是非、今後とも積極的な声掛けをお願いします。

結びに、本日お集まりの皆様のご健勝と、益々のご活躍を心よお祈りいたします。

多治見北高等学校吹奏楽部の演奏





高校生 71名 高等学校の先生（多治見北高校長先生をはじめとして） 8名
 東濃西部少年センター少年指導員 32名 来賓 5名 センター所員 3名

総勢120名程の参加でオープニングセレモニーが開始されました。多治見北高放送部の2人の司会でスムーズに会が進行し、多治見北高吹奏楽部の見事な演奏に足を止めて聞き入っている一般の方も大勢いました。土曜日にもかかわらず多くの方に参加していただき盛会となりました。セレモニー終了後には、高校生や少年指導員等の方々による啓発グッズ（ティッシュ・マスク）の配布が行われました。

子どもの健やかな成長を願う県民のつどい 岐阜県青少年健全育成県民大会

11月6日(日)には、各務原市文化ホールにおいて岐阜県青少年健全育成県民大会が行われました。
 大会趣旨

平成28年度岐阜県「子ども・若者育成支援強調月間」(11月)の期間中に、本大会を開催し、青少年の健全育成、社会環境浄化及び非行防止について広く県民の理解を深めるとともに、家庭・学校・地域社会が一体となって、地域ぐるみの実践活動をより一層推進し、その定着を図る。



この大会の中で、県民会議会長表彰として東濃西部少年センター少年指導員である7名の方が「優良少年補導員等顕彰」を受賞されました。敬称は略させていただきます。

加藤峯子(多治見) 今村嘉津子(多治見)
 生田一美(多治見) 稲垣信子(多治見)
 駒屋浩二(泉小学校) 安藤暢浩(養正小学校)
 小畑正樹(多治見北高等学校)

今年は、「青少年育成支援国民運動」の50周年



来年は、「岐阜県青少年育成県民会議」の創立50周年

標語としてどんな言葉が多く使われているのか調べてみました。大阪府河内長野市が年度ごとにまとめているので紹介します。

青少年健全育成標語

大阪府河内長野市青少年健全育成協議会

平成21年度（応募総数1713点）

【最優秀作品】

「つたえよう じぶんの気持ち はっきりと」

【優秀作品】

「ともしてね あかるいえがおを 町中に」
「わるいこと ちゃんとしかろう すくいの手」
「おいかけて 今なら間に合う 勇気の手」
「手をとめて 少しのあいだ 親子時間」
「あいさつは 笑顔になれる 魔法の言葉」
「あいさつで いつもころは にほん晴れ」

平成22年度（応募総数1765点）

【最優秀作品】

「いつだって あなたを見守る 地域の目」

【優秀作品】

「**ありがとう** 言葉一つで みな笑顔」
「メールより 直接伝えよう **ありがとう**」
「信じる目、傾ける耳、差し出す手」
「だいじょうぶ その一言で がんばれる」
「子どもはね おとなのせなか よく見てる」
「ころんでも 立ちなおらせる 友の声」

平成23年度（応募総数2462点）

【最優秀作品】

「きっとある あなたを救う 優しい手」

【優秀作品】

「愛が水 あいさつ肥料で 育てる芽」

「あいさつは するもされるも いいきぶん」
「生きる事 負けるな逃げるな 立ち向かえ」
「**ありがとう** メールではなく まごころで」
「育てよう 心の中に 笑顔の花を」
「深めよう 親子の絆 地域の輪」

平成24年度（応募総1938点）

【最優秀作品】

「心の手 つなぎあわせて 1つの輪」

【優秀作品】

「子供はね 親の心で 変わります」
「**ありがとう**は 笑顔になれる あいことば」
「やさしさの たねをみんなに ふりまこう」
「まけないで ころころのあくに うちかとう」
「見逃さず 早く気付いて 子の異変」
「子のえがお かぞくにとって 金メダル」

平成25年度（応募総数2510点）

【最優秀作品】

「友達は 一人ひとりが 宝物」

【優秀作品】

「やさしさで つなぎあわせて 良い笑顔」
「見てあげて 心の中の SOS」
「ラインより 目と目で話すと よくわかる」
「やさしさで みんなをつつむ ちいきの手」
「みんながね やさしくなれる そんな町」
「やさしさは 心のとびら ひらくかぎ」

平成26年度（応募総数2564点）

【最優秀作品】

「**ありがとう** ごめんなさいと 素直な心」

【優秀作品】

「考えよう やっていいこと わるいこと」
「そだてよう ともだちおもう やさしさを」
「育てよう 優しい心 強い意志」
「ともだちは 私を育てる エネルギー」
「しんじあう ころころ つなげよう」
「その笑顔 心のとびら 開くかぎ」

平成27年度（応募総数2838点）

【最優秀作品】

「うれしいな ころころをこめた **ありがとう**」

【優秀作品】

調べましたがわかりませんでした。

大切にしたい言葉 No.1

ありがとう

内閣府：これまでの標語

「育てよう健やかに 支えようみんなで」

「いのち輝く みんなの未来」

東濃西部少年センター 平成28年度上半期の声かけ活動状況

(1)月別の声かけ状況

区分	年別	4月	5月	6月	7月	8月	夏休 夜間 特別	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
活動日数	27年度	15	15	16	18	18	20	16	118	14	14	15	15	16	15	207	
	28年度	14	17	20	17	20	21	16	125								
活動回数	27年度	32	33	33	33	33	33	33	230	33	32	33	33	32	29	422	
	28年度	32	34	34	34	29	34	34	231								
活動人数	27年度	124	152	148	139	130	154	134	981	132	129	130	132	125	117	1,746	
	28年度	123	166	157	160	121	155	145	1,027								
	多治見	27年度	65	75	73	70	61	78	67	489	68	69	69	64	66	58	883
		28年度	63	85	78	86	66	82	68	528							
	瑞浪	27年度	28	36	35	31	35	38	33	236	30	28	32	33	28	30	417
		28年度	28	38	34	35	30	32	34	231							
	土岐	27年度	31	41	40	38	34	38	34	256	34	32	29	35	31	29	446
		28年度	32	43	45	39	25	41	43	268							
指導人数	27年度	12	7	18	1	15	3	0	56	5	6	3	10	6	5	91	
	28年度	3	20	2	20	10	0	20	75								
	男子	27年度	10	7	14	1	12	2	0	46	5	6	3	9	6	4	79
		28年度	3	12	2	16	8	0	13	54							
	女子	27年度	2	0	4	0	3	1	0	10	0	0	0	1	0	1	12
		28年度	0	8	0	4	2	0	7	21							

(2)行為別の指導状況

(単位:人)

年度別 男女別	行為別	飲酒	喫煙	薬物乱用	粗暴行為	刃物等所持	金品不正要求	金品持ち出し	性的いたずら	暴走行為	家出	無断外泊	深夜はいかい	怠学	不健全性的行為	不良交友	不健全娯楽	1 危険な遊び	その他		合計	
		2 自転車関連違反等	3 迷惑行為																			
年度別	27年4~9月	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	16	33	19	14	56
	28年4~9月	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	59	26	33	75
男子	27年4~9月	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	14	25	15	10	46
	28年4~9月	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	41	26	15	54
女子	27年4~9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8	4	4	10
	28年4~9月	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	18	0	18	21

1 道路上でのサッカー・ドッジボール・スケボー等の遊び、公園・河川敷等での危険な花火等

2 二人乗り 並進、無灯火、携帯電話での片手走行、小学生のヘルメット無し その他危険走行等

3 駅前 駅売店・駅トイレ・コンビニ等にて、たむろ 居座り・飲食 化粧等する迷惑行為

(3)学職別の指導状況

年度別 男女別	学職別	小学生	中学生	高校生	大学生	未就学児	各種学校	有職少年	無職少年	合計
		年度別	27年4~9月	13	3	27	0	0	0	13
	28年4~9月	6	11	44	0	0	0	14		75
男子	27年4~9月	11	3	20	0	0	0	12		46
	28年4~9月	6	9	27	0	0	0	12		54
女子	27年4~9月	2	0	7	0	0	0	1		10
	28年4~9月	0	2	17	0	0	0	2		21

平成28年度 東濃西部少年センター 「声かけ活動」 上半期のまとめ

声かけ活動の実施状況については、5ページの「東濃西部少年センター 平成28年度上半期の声かけ活動状況」を参照してください。

初めに(1)の月別の声かけ状況の表をご覧ください。

28年度上半期の活動日数は125日で、27年度と比べると7日増加していますが、活動日数は、同じ日に2つ以上の班が活動していても1日とカウントしますので、実際の活動状況については、活動回数が指標となります。

上半期の活動回数は231回で、昨年度より1回増加しています。ただ、活動単位である班の数が、昨年度の33班から今年度34班と1班増えていますが、実際は活動中止の回数が増えています。8月の実績が29回で5つの班で中止されています。今年の8月は台風等の悪天候の影響で中止を余儀なくされた結果です。

また、街頭での活動に当たっていただいた指導員の活動人数は1,027名で、昨年度の981名から47名増加しました。9月までに1,000名を超えたのは4年ぶりのことです。

指導人数は、8月までの累計では昨年とほぼ同数でした。春から夏にかけて駅前に集まる子どもたちもいましたが、少し落ち着いてきたのかと考えていました。ところが、9月に増えて上半期で昨年度の56人から75人となりました。気になったことは9月に入って、バイクの少年たちが土岐市等の駅前に集まるようになったことです。ただし、警察官による巡回もあり、10月に入ってから収まっている気配です。引き続き様子を見ています。

次に、(2)行為別の指導状況の表をご覧ください。

道路上などでの危険な遊びは減少していますが、喫煙や迷惑行為が増加しています。自転車についても増加しました。喫煙は、非行への入口にあたる行為であり、指導の重要なポイントと考えています。少年指導員さんには、注意をしても聞かない場合等は交番に連絡するようお願いしています。

次に(3)学職別の指導状況の表をご覧ください。

昨年度と比べ、小学生以外はいずれも増加しました。学職別の指導状況は、小学生は自転車のヘルメット未装着と路上でのキックボード等の危険な遊び、中学生は自転車の2人乗りやゲームコーナーでの指導と、喫煙が2人ありました。高校生はたむろ・居座りの迷惑行為と、自転車の無灯火・2人乗り等が多く、喫煙も男女各1人ありました。有職無職の少年は、たむろ・喫煙・自転車の2人乗りでした。

自転車関連での指導は、小学生から有職無職少年までどの学職でもあるので、当少年センターでは自転車の安全運転等についての啓発チラシを、3市の高等学校10校の生徒による駅前での啓発活動で配布しています。



平成28年度 東濃西部少年センター 「相談活動」 上半期のまとめ

「相談活動」についての表は載せてありません。実数で報告します。

電話相談は20件から14件と減少しましたが、メール相談が1件から9件と増加しました。相談合計数では、昨年度の23件から26件になりました。相談内容については、家庭での親子関係・養育に関する相談や交友関係に関する相談等でした。